

提言 2 (2月25日)

私は、Regions4とケベック州政府、ICLEI、愛知生物多様性目標に向けた先進国際広域自治体グループ (GoLS) 、およびヨーロッパ地域委員会によって調整された、生物多様性に関するサブナショナル政府諮問委員会を代表して発言しています。この介入は、ゼロドラフトに関する私たちの共通の立場です

共同議長と事務局が、このゼロドラフトを作成してくれたことを祝福します。このドラフトは、適切に構成されており、今後の交渉に役立つ、明確で簡潔な基盤を提供します。

また、現地での実施を可能にする地方およびサブナショナル政府の役割に対するゼロドラフトの検討を歓迎します。生物多様性及びその他の社会的目的の保護において私たちが果たすことができる重要な役割を認識することは重要ですが、まだ不十分です。

私たちは、GBFへの地方およびサブナショナル政府の実施についての当初からの言及に敬意を表し、このような価値のある包含が、あらゆるレベルの政府による計画の充実感を強化すると強く信じています。ただし、この包含は、GBFの残りの部分にも存在する必要があります。

20のターゲットの実施に関して、GBFの実施に対するサブナショナル政府および地方政府による重要な貢献を獲得し、主流化するためにもっと多くの作業が必要であると感じています。締約国は、特に自然に基づく解決策の実施と生物多様性の主流化におけるあらゆるレベルの地方政府の重要な役割、ならびに20のグローバルな目標、国家のコミットメント、地方およびサブナショナル政府の実施の間の重要なリンクを検討してもらいたいと思います。20のターゲットすべてが、サブナショナル政府と地方政府の関与をますます認識している可能性があり、共同議長に提言し、書面でも提出しました。

私たちは、サブナショナル政府および地方自治体を実施条件に含めることを歓迎します。ただし、政府の一部および一部としての地方政府およびサブナショナル政府の役割、ならびにそのネットワーク、特に都市に関する諮問委員会および生物多様性に関するサブナショナル政府諮問委員会の役割も実施支援に含めることをお勧めします。これはGBFの効果的な実施を確保する上で、これらのレベルで行われる重要な貢献をよりよく反映するメカニズムです。

資源動員、キャパシティビルディング、および主流化への長期的な戦略的アプローチに関する決定に沿ったフレームワークの実施に関する公開作業部会の勧告について、今年期限切れとなる生物多様性のためのサブナショナル政府、都市、およびその他の地方自治体に関する行動計画 (2010-2020) の更新に関する決議15 /-の勧告を新しいフレームワークの実施プロセスにおける主要なマイルストーンとして追加したい。私たちは現在、新たに強化された決定のための勧告に、サブナショナル政府と地方政府にGBFの最適な実施に貢献し、確保する最大限の機会を与えるために取り組んでおり、SBI-3での検討材料として、そのレビューを共同議長に提示します。

以前にも言いましたが、この次のグローバルな生物多様性フレームワークに対する野心を本当に高めたいなら、この「政府と社会全体のアプローチ」を達成しなければなりません。サブナショナル政府と都市は、市民社会や民間および金融セクターを含むその他の利害関係者のこの意識と包摂性を高める上で大きな役割を果たすことができます。

また、わかりやすいメッセージを作成するだけでなく、さらに重要なこととして、一般の人々に明確なメッセージを作成するという本質的な必要性を再確認する必要があります。この新しい自然と人々のための取り引きがこの世界のすべての市民によって実行されることを望むならば、これは最も重要です。

したがって、世界生物多様性目標とその行動目標においてサブナショナル政府と地方政府が参加する手段についてより具体的にすることをお勧めします。私たちはこれらの点についてさらに議論し、サブナショナル政府と地方政府がポスト2020年目標に具体的にどのように貢献できるかを提案することを楽しみにしています。ありがとうございました。